



桜の名所をいつまでも

市内事業者による桜植樹ボランティア

毎年3月に勢至公園から南極公園間の市道の清掃ボランティアを行っている株式会社石山組の皆さんが今年初の試みとして、3月10日にボランティアで勢至公園に4本の桜の植樹作業を行いました。県内随一の桜の名所である勢至公園がこれから花見のシーズンを迎え多くの花見客を受け入れるにあたり、万全の態勢を整えてくれました。



▲桜を植樹する社員の皆さん

餃子を作って皆で交流

にかほ★JOY ギョウザdeお料理交流会

3月6日、象潟構造改善センターにて、移住者と地域住民の交流イベント「にかほ★JOY」が開催されました。今回はジオパークをテーマとして、餃子作りを楽しみながら、講師の大野希一さんによる世界のジオパークについての講義に耳を傾けました。参加者は和気藹々とした雰囲気の中、餃子を味わいながら、地域の自然や歴史への理解を深めました。



▲餃子を食べながらジオパークについての講義を聞く参加者

大きくなって帰ってきてね！

川袋川・奈曽川 鮭の稚魚放流

2月から3月にかけて、川袋川と奈曽川で市内4小学校児童による鮭の稚魚放流が行われました。川袋鮭漁業生産組合の皆さんから鮭の生態を聞いた3年生児童たちは、全部で約65,000匹の稚魚を放流。児童たちは稚魚の入ったバケツを大事そうに抱え、横一列に並び、「大きくなってにかほ市に帰ってきてね」と声をかけ優しく放流していました。



▲雪が降る寒空のなかでの放流。写真は象潟小学校

「やってみたかった」を形に出来るイベント

第2回 チャレンジショップ

2月22日、まちの企業寮TSUGUBAで第2回チャレンジショップが開催されました。店舗を持たない方や新たに活動を始めたい方のチャレンジをにかほ市が応援するイベント。食品や雑貨の販売、エステなど様々な形態の店が開かれた他、仁賀保高校生がにかほっぺんマフィンやアイスティーパンを限定販売。会場は多数の来場者で賑わっていました。



▲ワークショップに参加する親子

自治会恒例、春の風物詩

下荒屋地区「防災講習会とワカメ収穫」

3月14日、下荒屋自治会で「防災講習会とワカメ収穫」が行われました。消防署による防災講習では、火事があった際にどう行動するかなどのお話と消火器を使った消火訓練を実施。昼食をはさみ、近くの海岸に子どもやお年寄りなど下荒屋地区の住民が集まってくると、いよいよワカメを収穫。ロープについたワカメを笑顔で刈り取る姿が見られました。



▲ワカメの刈り取りに夢中になる下荒屋地区の皆さん

言葉の壁を越えて思いを伝えよう

日本語学校でスピーチコンテスト

3月12日、旧上郷小学校を活用したサンクパール日本語学院にて、第1回日本語スピーチコンテストが開催されました。学生たちは、自国と日本との文化の違いや将来に向けて日本語を勉強していること、アルバイトや普段の生活で感じている「日本の時間を厳守する文化」に驚いていることなど、聞き手に伝わりやすい丁寧なスピーチを披露しました。



▲スピーチコンテスト午後の部優勝のアラファトさん

諦めない、そして夢を追うこと

郷土の偉人に学ぶ作文コンクール

2月28日、金浦勤労青少年ホームで令和7年度郷土の偉人に学ぶ作文コンクールの表彰式・優秀作品発表会が行われました。小学5年生の部では南極探検隊長・白瀬轟に学んだことを、中学2年生の部ではTDK創設者・齋藤憲三に学んだことをテーマに269人が応募。児童生徒たちは、郷土の偉人から学んだことと自身の思いを重ねて作文を発表しました。



▲入賞した児童生徒と青少年育成にかほ市民会議の須田会長

春の味覚を食卓に

生ワカメ直売会

2月28日、秋田県漁業協同組合南部支所を会場に金浦産生ワカメの直売会が行われました。金浦漁港を拠点とする漁師の皆さんが初めて一堂に会して行われた直売会には、旬の味覚を求めて朝早くから500人以上が詰めかけました。直売ならではの鮮魚の販売なども行われ、サメの切り身詰め放題にはワカメ片手に多くの方が挑戦していました。



▲1袋2キロ入りの生ワカメ！重いけど持てるかな？